

❀ 講演会「英国発！グローバル考古学」の開催

2016年9月2日に、講演会「英国発！グローバル考古学」を平城宮跡資料館講堂において開催しました。日英の文化財交流の最前線での体験談や、世界の先端をゆく英国の考古科学的研究を紹介し、日本では普段ふれることの少ない話題を提供することで、より多くの方々に両研究所の活動に関心を持っていただく機会としようという趣旨です。

去る2015年12月22日、奈良文化財研究所は、日本考古学の国際的研究の推進事業を共同して実施することを目的に、英国セインズベリー日本藝術研究所との共同研究に関する協定を締結しました(奈文研ニュースNo. 61)。同時に、2015年9月から2016年5月にかけては、同研究所の支援のもと、イギリスの各地で奈文研の研究者による講演会を5回にわたりおこないました。このように両研究所を軸として日英の学術交流が深まる中、今回の講演会は、上記の協定締結後、国内初めての公開行事となりました。

当日は松村所長による挨拶の後、セインズベリー日本藝術研究所サイモン・ケイナー考古・遺産学センター長による「加速化する日英の文化財交流」、ケンブリッジ大学ミルヤーナ・ラディヴォイエヴィッチ研究員による「進化か革新か？考古科学が明かすユーラシア最古の冶金」、当研究所庄田研究員による「土器に残された油脂の考古生化学～日本・朝鮮半島・中国・ヨーロッパ、それぞれの新石器」と題しての講演がありました。当日は65名の方々にご来聴いただき、熱心に聞き入りつつ、時に演者たちのユーモアに笑いも沸き上がる等、盛会となりました。

(都城発掘調査部 庄田 慎矢)



ラディヴォイエヴィッチ博士による講演の様子